

# 認定申請の手引き

## 第7版 (20250327)

老年薬学認定試験に合格した場合のみ、認定申請を行うことができます。なお、認定試験に合格したが、認定審査にて不合格となった場合、認定試験合格の記録を次年度申請時まで保持することが可能です（細則第25条）。

### 目次

#### 第1章 申請の手順

#### 第2章 申請画面の操作手順

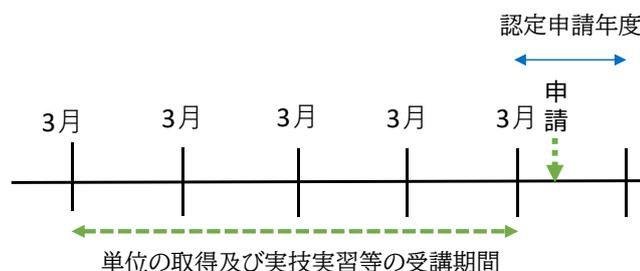
## 第1章 認定申請の手順

### (1) 申請の手順

認定試験に合格した方は、申請受付期間に、事務局から発行されたID・パスワードを用い、日本老年薬学会ホームページ内の「会員専用」ページに入り、「資格認定申請」のWeb画面から手続きを行ってください。

web画面上の「資格認定申請」画面内で、(1) 各種申請資料の提出、(2) 移行審査料の受領証の提出、(3) 症例10症例の入力、を行うことができます。

- 提出されたファイルデータの内容をこちらで確認できない場合には、再度提出をお願いしますので、提出書類の原本は認定審査が終了するまで必ず保管してください。
- Web画面上からアップロードする書類等のファイルをパソコンに保存する際のファイル名は、特に指定はありません。
- 申請受付期間内であれば、入力内容の修正、一度アップロードした書類等の再アップロードが可能です。申請受付期間後の修正等はできません。
- 注意：単位及び実技実習等は、4年度以内（認定申請年度を除く）の受講分が有効となります。
- 本学会の年度とは、3月1日から2月末までの期間です。



- web画面上での操作、アップロードの手順については第2章をご参照ください。

認定制度規則の第 3 章及び施行細則の第 3 章

1. 薬剤師であること（認定申請時に免許取得後 3 年以上）
2. 3 年度以上引き続いて本学会の一般会員であること（認定申請年度はカウントに含めない）
3. 公益社団法人薬剤師認定制度認証機構により認証された生涯研修認定制度(G)および特定領域認定制度(P)による認定薬剤師、日本医療薬学会の専門薬剤師制度により認定された専門薬剤師であること
4. 業務を通じて高齢者の薬物療法の有効性又は安全性に直接寄与した症例を 10 症例報告できること
5. 本学会の指定する研修などにおいて、30 単位以上取得していること（4 年度以内（認定申請年度を除く））
6. 学会の指定する実技実習などにおいて、3 項目以上受講していること（4 年度以内（認定申請年度を除く））
7. 本学会役員（理事、監事、評議員）あるいは、所属長（病院長あるいは施設長等）または保険薬局においては開設者の推薦があること
8. 認定試験を合格した者であること

表：提出物等の一覧表

申請要件		手続き
2	本学会の一般会員であること	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式 a (認定申請) をダウンロードし、必要事項を記載し、PDF もしくは JPEG をアップロード。</li> </ul>
	審査料納入	審査料 11,000 円は申請後申請完了後、クレジットにてお支払いいただくか、事務局にお問い合わせの上、お振込をお願いします。
1	薬剤師免許取得後 3 年以上経過	薬剤師免許の写し (JPEG もしくは PDF) をアップロード
7	施設長・所属長の推薦	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式 b (推薦書) をダウンロードし、本学会役員 (理事、監事、評議員) あるいは、所属長 (病院長あるいは施設長など) または保険薬局においては開設者の署名又は、記名押印をもらってください。PDF もしくは JPEG をアップロード。</li> <li>申請者自身が所属長、薬局開設者の場合、申請者が「施設長・所属長の氏名」に記載いただいて問題ありません。</li> <li>申請日から遡って 3 ヶ月以内のものが有効となります。</li> </ul>
5	単位取得に関する申請書提出 (30 単位)	<ul style="list-style-type: none"> <li>様式 c (単位取得申請書) に老年薬学会の単位シール等を貼付し、PDF もしくは JPEG をアップロード。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 日本老年薬学会学術大会への 1 回以上の参加を含むこと</li> <li>(2) 日本老年薬学会が主催・協賛・共催する学術大会及び研修等の単位を 15 単位以上含むこと (緑色の単位シール)</li> </ul> </li> <li>2020 年、2021 年、2022 年日本老年薬学会学術大会は、緑色の単位シールに代わり、参加証にて 6 単位として扱う (様式 c に貼付)</li> <li>2021 年 2 月以降の本学会主催の研修会等の単位は、現地での緑色の単位シールの交付に代わり、学会サイト会員ページ内「参加行事閲覧」にて単位をダウンロード (※1 参照)</li> <li>2023 年 5 月以降に開催された研修会等の参加分については、単位シールや単位 pdf ではなく、WEB 取得単位システムにて付与・管理する形式となります。なお、2023 年 4 月以前の参加分については、既に交付されている単位シールや単位 pdf を申請にご使用下さい。なお、ワークショップでは単位の付与はありませんので、WEB 取得単位システムの『認定資格・WEB 取得単位』ページには掲載されません。ワークショップ参加後に発行された実習受講証明書は 1 枚あたり 2 単位に読み替えて申請に用いることが可能です。(WEB 取得単位システムについてはこちらを参照 <a href="https://www.jsgp.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/webtanishutoku.pdf">https://www.jsgp.or.jp/wp/wp-content/uploads/2023/05/webtanishutoku.pdf</a>)</li> <li>余剰の受講証明書を単位 (2 単位/1 枚) として用いる場合は様式 c に貼付</li> <li>老年薬学総合研修会*は、緑色の単位シールに代わり、受講証明書にて 3 単位として扱う (※2 参照)</li> <li>上記以外の単位シールが発行されないものについては、様式 d (単位換算申請書) も申請してください。これらを 1 つの PDF ファイルにしてアップロードしてください (※3 参照)。</li> </ul>

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <b>様式 d (単位換算申請書)</b> により単位換算を行う場合は、証明する資料も一緒に PDF ファイルとし提出する必要があります。資料がないものについては無効となります。</li> </ul>
6	実技実習等の受講に関する申請書提出 (3項目)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様式 e (実技実習等受講申請書) に実習受講証明書を貼付し、PDF もしくは JPEG をアップロード。</li> <li>・ 2020 年 11 月以降のワークショップの受講証明書は、学会サイト会員専用ページ内「参加行事閲覧」にてダウンロード (※4 参照)。</li> <li>・ 老年薬学総合研修会は、実習受講証明書 (11-N2) に代わり、受講証明書にてコード 11-N2 のワークショップを受講したものとして扱う (※5 参照)</li> <li>・ 交付 (詳細は手引き参照)。実習受講証明書が発行されなかったものについては、様式 f (実技実習等出席証明書) または様式 g (実務従事証明書) を提出してください。なお、「実習受講証明書」以外のみにより申請する場合も、様式 e (実技実習等受講申請書) を提出してください。これらを 1 つの PDF ファイルにしてアップロードしてください (※6 参照)。</li> <li>・ 様式 f (実技実習等出席証明書) を用いる場合、「受講を証明できる認定証、修了証、領収書、参加証等」または「主催者記入欄への記入」が必要となります (「11-B 救命救急・AED」日本赤十字社や消防署等が交付した認定証がある場合は、不要)。これらが無い場合、無効となります。</li> <li>・ 様式 g (実務従事証明書) を用いる場合は、1 つのコードにつき、1 枚の様式 g (実務従事証明書) を提出してください。</li> </ul>
4	症例の報告 (10 症例)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 業務を通じて高齢者の薬物療法の有効性または安全性に直接寄与した症例 (「症例の手引き」を参照) を web 画面に入力してください。</li> <li>・ 各項目には文字数制限がありますが、Web 画面の症例報告入力フォーム上では、入力した文字数は表示されません。一度、word や excel 上にて作成し、文字数が制限内であることを確認した後に、入力フォームに文字を貼り付けてください。</li> <li>・ web 画面上で入力した症例を受付期間後に出力することはできませんので、症例報告準備用フォーマット (word) で作成し、ご自身で保管してください</li> </ul>
3	認定薬剤師の写し	<p>8. 公益社団法人薬剤師認定制度認証機構により認証された生涯研修認定制度 (G) および特定領域認定制度 (P) による認定薬剤師、日本医療薬学会の専門薬剤師制度により認定された専門薬剤師の写し (JPEG もしくは PDF) をアップロード</p>

※1：学会サイト会員ページ内から単位のダウンロード

会員ページの「参加行事閲覧」から単位をダウンロードし、余白は切り落とし、様式c（単位取得申請書）に貼付してください。



参加行事閲覧

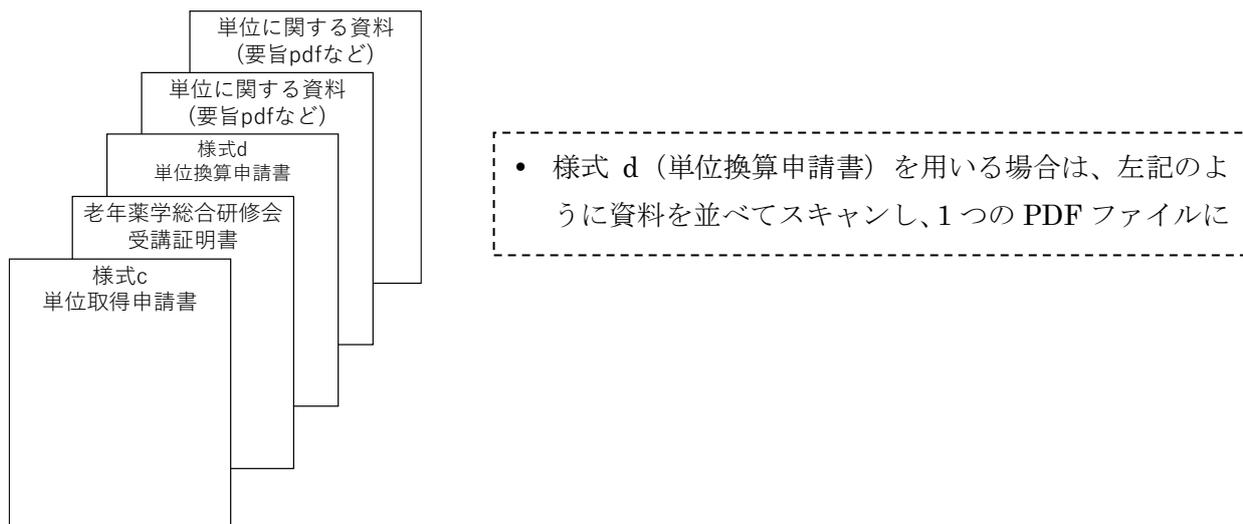
「参加証明書」をクリック

※2：老年薬学総合研修会の受講証明書を単位として用いる場合



- 左記のように資料を並べてスキャンし、1つのPDFファイルにする。

※3：様式 d（単位換算申請書）を用いる場合の PDF ファイル作成の方法



表：単位換算において添付が必要な資料

<ul style="list-style-type: none"> <li>日本老年薬学会学術大会での発表（筆頭演者に限る）：2 単位</li> <li>日本老年学会に加盟している 7 学会（日本老年医学会、日本ケアマネジメント学会など）での発表（筆頭演者に限る）：2 単位</li> </ul>	発表要旨 pdf の添付
<ul style="list-style-type: none"> <li>日本老年薬学会学術大会、本学会が主催する研修会のシンポジウム、講演の演者・講師：2 単位</li> </ul>	講演概要がわかる資料 pdf の添付
<ul style="list-style-type: none"> <li>下記雑誌に掲載された論文（ファースト、コレスポに限る）：2 単位                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 日本老年薬学会学術雑誌</li> <li>➤ 日本老年学会に加盟している 7 学会の学術雑誌</li> <li>➤ 老年薬学に関する英語論文掲載</li> </ul> </li> <li>医療系学会誌、医療職能団体発行雑誌、医療系商業誌における老年薬学に関する総説や解説（ファーストに限る）：2 単位</li> <li>*論文及び総説等は、申請時から遡って過去 10 年以内に掲載されたものに限る</li> </ul>	論文 pdf の添付
<ul style="list-style-type: none"> <li>本学会が企画する e-learning の受講                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ メディカルナレッジにおいて分野「老年薬学」に該当する講座 <a href="https://www.medical-knowledge.net/koza/">https://www.medical-knowledge.net/koza/</a></li> <li>➤ 3 講座（30 分/1 講座）1 単位</li> <li>➤ 申請に使用可能な単位の上限：4 単位</li> </ul> </li> </ul>	メディカルナレッジのサイトからダウンロードした受講修了証 pdf の添付
<ul style="list-style-type: none"> <li>その他学会の学術大会・年会への参加：1 回の参加 2 単位（参加日数に関わらず 1 回とカウントし、1 学会の学術大会・年会の参加を 2 単位とする）                             <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 日本老年学会に加盟している 7 学会（日本老年医学会、日本ケアマネジメント学会など）への参加</li> <li>➤ 本学会が指定する医療系学会の学術大会・年会への参加</li> </ul> </li> </ul>	学術大会参加証 pdf の添付（領収書は不可）
<p>※本学会が指定する医療系学会：日本薬剤師会学術大会（地方会も含む）／日本病院薬剤師会各ブロック学術大会／日本薬学会年会（医療薬学フォーラム、地方会も含む）／日本医療薬学会年会／日本褥瘡学会／日本緩和医療薬学会／日本臨床腫瘍薬学会／日本臨床栄養代謝学会／日本化学療法学会／日本腎臓病薬物療法学会／日本糖尿病学会／日本骨粗鬆症学会／日本プライマリ・ケア連合学会／日本在宅薬学会</p>	

※4：学会サイト会員ページ内から受講証明書をダウンロード

会員ページ「参加行事閲覧」から受講証明書をダウンロードし、余白は切り落として使用してください。

- 学会の指定する実技実習等の受講分（3項目）として使用：様式 e（実技実習等受講申請書）に貼付
- 余剰分を単位として用いる場合：様式 c（単位取得申請書）に貼付

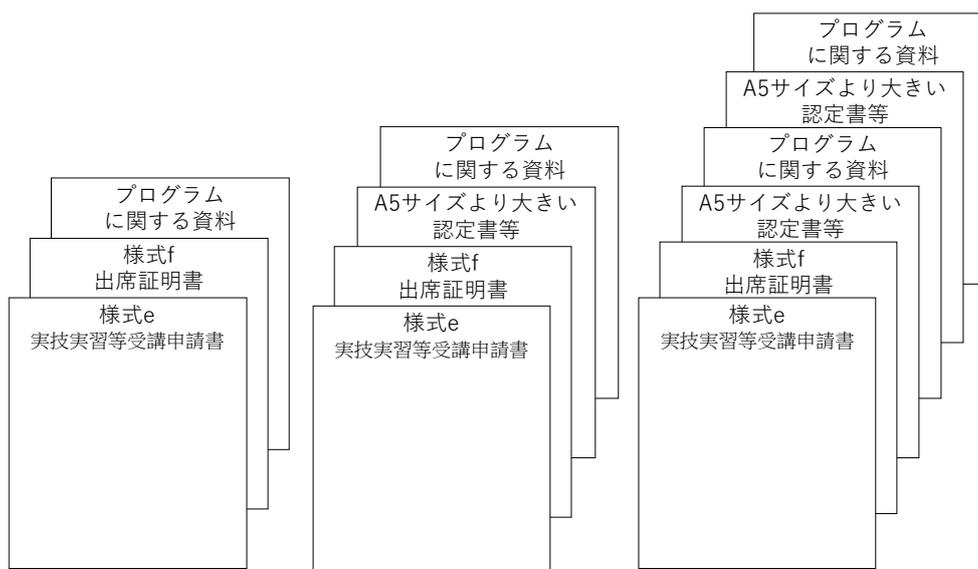


※5：老年薬学総合研修会の受講証明書を 11-N2 として申請に用いる場合

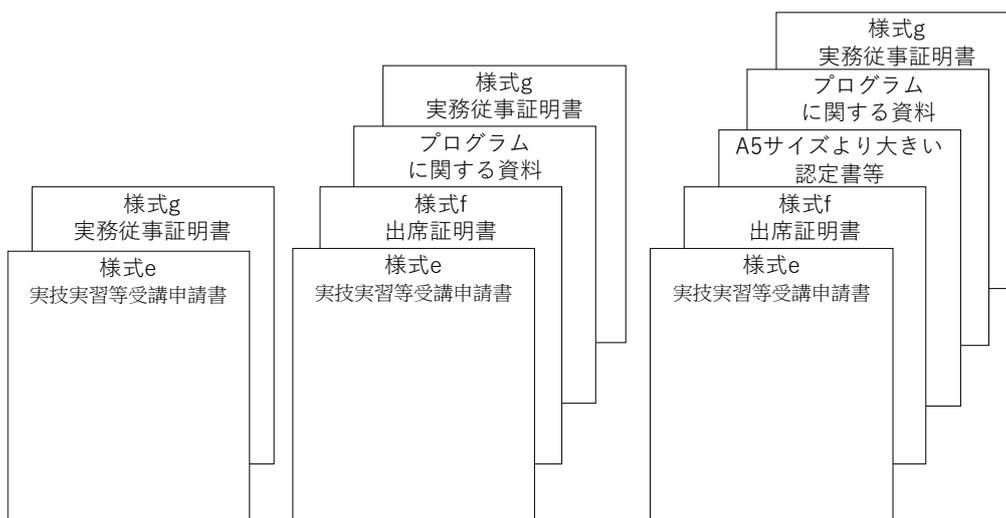


- 左記のように資料を並べてスキャンし、1つの PDF ファイルにする。

※6-1：様式 f（実技実習等出席証明書）を用いる場合の PDF ファイル作成の方法



※6-2：様式 9（実務従事証明書）を用いる場合の PDF ファイル作成の方法



- 様式 f（実技実習等出席証明書）や様式 g（実務従事証明書）を用いる場合は、上記のように資料を並べてスキャンし、1つの PDF ファイルにする。
- 実習受講証明書以外のみにより申請する場合も、様式 e（実技実習等受講申請書）を提出してください。

(2) 認定審査の結果

- 秋頃（9/1頃（予定））にマイページにて、審査結果を開示いたします。
- 審査結果の開示について、E-mail で連絡いたしますので、予め当学会からの送信メールを受信できるよう、学会の登録情報を常に最新に更新していただくとともに、迷惑メール等に分類されないようメールソフトを設定してください。
- 通知後 30 日以内に登録料 11,000 円（税込）をお支払いください。

## 第2章 認定申請画面の操作手順

### ● 申請に必要な書類の pdf ファイルの作成

1. 申請書類は、老年薬学ホームページの「認定薬剤師制度」の中の、「認定申請の要件」にてダウンロードすることができます。
2. 自筆以外の箇所は、word で入力でも、印刷したものに手書きいただいてもどちらでもかまいません。
3. ご自宅等にスキャナーがない場合には、コンビニに設置されているマルチコピー機にて PDF ファイルを作成することが可能です。USB メモリーをコンビニに持参し、マルチコピー機のスキャンサービス（1回 30 円）で、お手持ちの書類の PDF ファイル版を USB に保存することができます。
4. 申請する書類の pdf ファイルの名前に指定はありません。

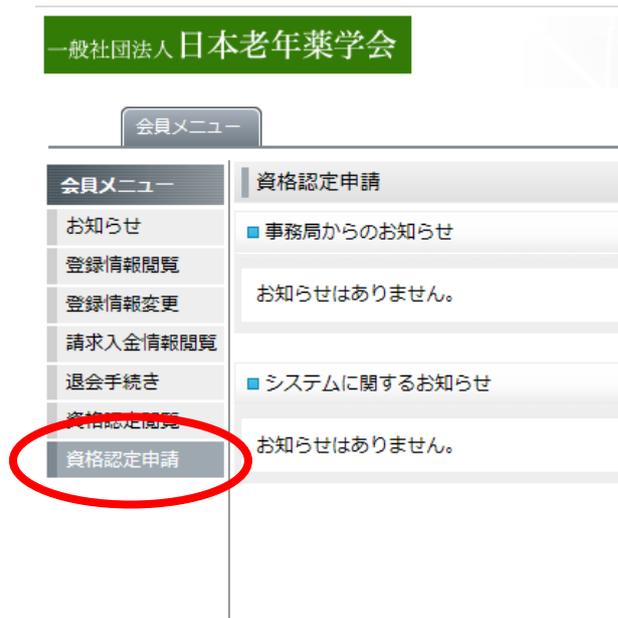
### ● 認定申請画面へのログイン

1. 日本老年薬学会ホームページの画面上部右側にある「会員専用」をクリックしてください。



2. 会員限定ページログインが表示されますので、事務局より発行されたログイン ID とパスワードを入力し、ログインしてください。

3. 画面向かって左側の一番下にある「資格認定申請」をクリックしてください。



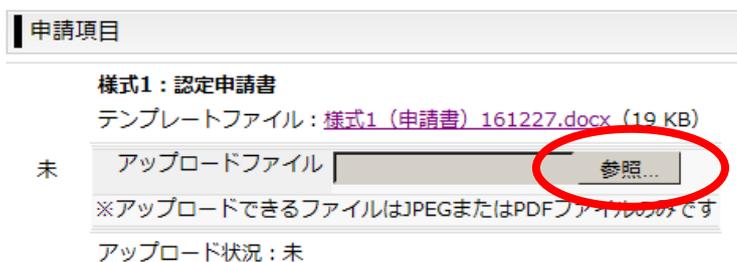
4. 「申請」のボタンをクリックしてください。「申請」は申請受付期間のみ表示されます。



5. 申請項目のページが開き、ここで、(1) 各種申請書の提出、(2) 症例の入力、を行うことができます。

● 申請に必要な書類のアップロードの手順

1. 申請する書類の pdf ファイルの名前に指定はありません。
2. 申請画面の「参照...」をクリックし、保存した pdf を選択。



3. アップロード状況の右側に下記のように先ほど選択したファイル名が表示され、左側に「済」の文字が表示されていれば、問題なくアップロードできています。

申請項目	
様式1：認定申請書	
テンプレートファイル：様式1（申請書）161227.docx（19 KB）	
済	アップロードファイル <input type="text"/> 参照...
※アップロードできるファイルはJPEGまたはPDFファイルのみです	
アップロード状況：様式1（申請書）161227.pdf（171 KB） 2017.07.25 00:42	

4. 誤ったものをアップロードしてしまった場合には、再度、「参照...」をクリックし、正しいファイルを選択し直すことで、新たなファイルがアップロードされ、置き換わります。

## ● 症例の入力

1. [症例報告（必要登録数：10）]の箇所にある「詳細」をクリックしてください。

症例報告（必要登録数：10）	
未	<b>詳細</b>
状況：未登録	
コード4 高齢者医療に関わる	

2. 「症例報告新規登録」をクリックしてください。

資格認定申請	
症例報告（必要登録数：10）	
<b>症例報告新規登録</b>	
症例	登録日時
ステータス	
戻る	

3. 入力画面が表示されますので、こちらに入力をしてください。各項目には文字数制限がありますが、症例報告入力フォーム上では、入力した文字数が表示されません。一度、word等にて作成し、文字数が制限内であることを確認した後に、入力フォームに文字を貼り付けてください。

資格認定申請	
症例報告入力フォーム	
※項目は全て必須入力です。	
症例*	<input type="text"/>
年齢*	<input type="text"/> 歳
性別*	<input type="radio"/> 男性 <input type="radio"/> 女性 <input type="radio"/> 不明
患者病歴*	<input type="text"/>
現病歴（病名）*	<input type="text"/>
介入時考慮した検査値*	<input type="text"/>
その他の介入時検査所見*	<input type="text"/>
薬の管理者*	<input type="text"/>
生活状況*	<input type="text"/>
服用できない薬形*	<input type="text"/>
薬剤有害事象*	<input type="radio"/> 無 <input type="radio"/> 有 <input type="text"/>
薬の管理方法*	<input type="text"/>
介入時の投薬状況*	<input type="text"/>

4. 下部にある「一時保存」をクリックすることで入力中でも入力内容を保存することができます。

The screenshot shows a web form with two main input areas. The top area is labeled '多職種などとの連携内容\*' and the bottom area is labeled '介入結果および考察\*'. Below these areas, there are two buttons: '登録確認画面へ' and '一時保存'. The '一時保存' button is circled in red. At the bottom left, there is a '戻る' button. The footer contains the text 'Powered By SMMS Copyright(c) TOKYO COMPUTER SYSTEM CO.,LTD.All Rights Reserved.'

5. 全ての項目について入力が完了したら、「登録確認画面へ」をクリックしてください。

The screenshot shows the same web form as in step 4. In this step, the '登録確認画面へ' button is circled in red. The '一時保存' button is no longer circled. The '戻る' button and footer text are also visible.

6. 入力漏れや、文字数が上限より多い場合には、画面の下部に赤字でエラー内容が表示されます。

The screenshot shows the web form with error messages displayed in red text. The messages are: '患者背景 は 150 文字以内で入力してください。' and '介入時考慮した検査値 は必須入力です。'. The '登録確認画面へ' and '一時保存' buttons are visible above the error messages. The '戻る' button is at the bottom left. The footer text is 'Powered By SMMS Copyright(c) TOKYO COMPUTER SYSTEM CO.,LTD.'

7. 過不足なく項目を埋めた後に、「登録確認画面へ」をクリックしてください。[症例報告確認]画面が表示されますので、「登録」をクリックしてください。また、「登録」をクリックした後も、登録内容の修正は可能です。

資格認定申請	
症例報告確認	
症例	〇〇〇〇〇
年齢	12歳
性別	男性
患者背景	〇〇〇〇〇
現病歴(病名)	〇〇〇〇〇
介入時考慮した検査値	〇〇〇〇〇
その他の介入時検査所見	〇〇〇〇〇
薬の管理者	〇〇〇〇〇
生活状況	〇〇〇〇〇
服用できない剤形	〇〇〇〇〇
薬剤有害事象	無
薬の管理方法	〇〇〇〇〇
介入時の投薬状況	〇〇〇〇〇
介入終了時の投薬状況	〇〇〇〇〇
服薬アドヒアランス(介入時)	極めて不良
服薬アドヒアランス(介入終了時)	極めて不良
プロブレムリスト	〇〇〇〇〇
服薬支援・管理・処方介入など具体的内容	〇〇〇〇〇
多職種などとの連携内容	〇〇〇〇〇
介入結果および考察	〇〇〇〇〇

**登録**

戻る

Powered By SMMS Copyright(c) TOKYO COMPUTER SYSTEM C

8. 下記が、一つの症例の登録が完了した画面です。手順2からの操作を繰り返し、10症例登録してください。「戻る」をクリックすると、[申請項目]のページに戻ります。

会員メニュー	資格認定申請
お知らせ	症例報告(必要登録数:7)
登録情報閲覧	症例報告新規登録
登録情報変更	
請求入金情報閲覧	
退会手続き	編集 印刷 <b>削除</b> 〇〇〇〇〇 2017/01/26 01:11 済
資格認定閲覧	
資格認定申請	戻る

9. 10症例の登録が完了すると、[申請項目]のページに「済」が表示されます。

資格認定申請	
症例報告(必要登録数:10)	
<b>済</b>	詳細
状況:10件登録済み 2017/01/26 01:18	

● 申請の完了

1. 全ての書類の提出、症例の入力が終わった後に、申請項目の画面の下部にある「申請」がクリックできるようになります。「申請」をクリックしてください。



2. 必ず、申請状況が「申請済み」になっているか確認してください。



3. 申請受付期間内であれば、申請状況が「申請済み」となっても、書類等の再アップロード、症例の修正は可能です。